



news

2004年2月12日

「爽健美茶」2004 広告キャンペーン
新キャンペーン・スローガンは“ So Beautiful. 爽健美茶 ”
CM 音楽にはマライア・キャリーが日本の歌に初挑戦！

おぼろづきよ

伝統的な春の唱歌「朧月夜」(「MISTY MOON」)を熱唱！

新“爽健美人”に伊藤美樹を起用

新TV-CM「織物」篇 2月18日(水)

「投影・花」篇 3月1日(月)から全国で放映



「爽健美茶」2004 広告キャンペーン
新TV-CM「織物」篇(15秒)より

コカ・コーラ グループは、11 種類の素材の恵みのブレンド茶「爽健美茶」2004 年広告キャンペーンとして、「So Beautiful. 爽健美茶」をスローガンに新広告キャンペーンを展開します。

＊

新広告キャンペーン第一弾の TV-CM として、「織物」篇（15 秒）を 2 月 18 日（水）から、「投影・花」篇（15 秒/30 秒）を 3 月 1 日（月）から全国で放映を開始します。CM 楽曲には、世界の歌姫マライア・キャリーが日本の唱歌に初挑戦。春の名曲「^{おぼろづきよ}朧月夜」にオリジナルの英語の歌詞をのせて、「爽健美茶」の新しい世界観を表現します。また、爽健美人シリーズが復活し、新“爽健美人”として CM キャラクターには、モデルの伊藤美樹を新たに起用します。

<新キャンペーン・スローガンは、「So Beautiful . 爽健美茶」>

2004 年の「爽健美茶」は、「So Beautiful . 爽健美茶」を広告キャンペーン・スローガンとして展開します。「So Beautiful . 爽健美茶」には、「爽健美茶」が“カラダの内側からキレイにしてくれる素材の恵み豊かなブレンド茶”というメッセージを込めています。

TV-CM では年間を通じて「爽健美茶は 11 種類の素材の恵みがバランス良くブレンドされている」ことを訴求する「ブレンド訴求シリーズ」と「爽健美茶はカラダを内側からキレイにしてくれる」ことを訴求する「新・爽健美人シリーズ」の 2 方向の素材を展開することで「11 種類の素材の恵みのブレンドが、カラダを内側からキレイにしてくれる」という爽健美茶独自のブランド価値を、消費者に対して分かりやすく伝達します。

<CM 楽曲は、マライア・キャリーが歌う「^{おぼろづきよ}朧月夜」(「MISTY MOON」)>

「爽健美茶」の新たな CM のコンセプトにマッチした楽曲は、日本を代表する唱歌「^{おぼろづきよ}朧月夜」(作詞：高野辰之、作曲：岡野貞一)。「^{おぼろづきよ}朧月夜」のメロディーにオリジナルの英語の歌詞をのせて、世界の歌姫マライア・キャリーが日本の歌を初めて歌い上げます。

“7 オクターブの歌姫”と評されるマライア・キャリーの伸びやかで美しい歌声は、そののどかな春の宵の情景が日本人に長く愛唱されている「^{おぼろづきよ}朧月夜」を表現することで「爽健美茶」の透明感のあるスタイリッシュで美しい映像と見事にマッチしています。

尚、本楽曲「^{おぼろづきよ}朧月夜」(「MISTY MOON」)は、マライアにとって 2004 年初の楽曲となり、彼女の 2004 年アーティスト活動の幕開けにふさわしい曲となっております。

<「^{おぼろづきよ}朧月夜」について>

「^{おぼろづきよ}朧月夜」(作詞：高野辰之、作曲：岡野貞一)は、大正3年、6月に尋常小学第6学年用唱歌に制定された日本の田園風景を描いた叙情歌の傑作で、のどかな春の宵を歌った昔なつかしい日本の歌です。長く作詞・作曲不詳の「文部省唱歌」とされ、作者名が明らかにされたのは戦後のことです。高野辰之&岡野貞一のコンビは、「^{おぼろづきよ}朧月夜」のほかにも「春の小川」「春が来た」など今も愛唱される数々の日本の名曲を残しました。

「^{おぼろづきよ}朧月夜」の歌詞は文語調ですが、美しくわかりやすいメロディーが耳になじみやすく、現在まで広く多くの人々に歌われています。霞たなびく春の夕暮れの一面黄色に染まった菜の花畑に月が出て、次第に夜に移りゆく春の田園風景を見事に描写しています。春らしいぼんやりと霞んだ柔らかい自然の情景が浮かび、歌う人も、聞く人も誰の心にも親しみと日本人が持つ叙情への深い共感が、自ずと湧いてくる名曲です。

<新“爽健美茶”にモデルの伊藤美樹を新たに起用>

2004年の「爽健美茶」TV-CMには、ファッション雑誌などを中心に活躍しているモデルの伊藤美樹が、2004年新“爽健美茶”として、新たに登場します。素材の恵みのブレンド茶「爽健美茶」を飲むことでカラダの内側からキレイになることを表現していく

“爽健美茶”にふさわしい、スラリとした長身の美しくしなやかなスタイルと、透明感を併せ持つことから、今回の起用が決定しました。

TV-CMでは、新“爽健美茶”伊藤美樹が、美しい草原に凜と佇む美しい映像の中で、「爽健美茶」を飲むカットを交えながら、「So Beautiful. 爽健美茶」のCM世界観を伝えていきます。

<新TV-CM「織物」篇(15秒)について>

【CMストーリー】

明るく白い空間に、透明の美しいグラスに入った「はとむぎ」「玄米」...といったお茶が並んでいる。その美しい色のお茶が入ったグラスの上を、カメラが、軽やかに空を飛ぶようになぞっていく。徐々に爽健美茶に入っている11種類すべてのお茶が見えてくる。

すると、それぞれのお茶が下に向かって細く、キレイにこぼれてゆく。カメラはそのお茶の液体を追っていき、やがてその細いお茶の液体は細い糸になっていく。機織り機に織られ、美しい1枚の織物、そしてブレンド茶へと変わっていく。

ゆったりと風に吹かれてその織物がなびくと、そのゆらめきは爽健美茶のゆらめきへとかわってゆく。

『はとむぎ、玄米、月見草、どくだみ、はぶ茶、プーアル茶、チコリー.....
So Beautiful. 爽健美茶』

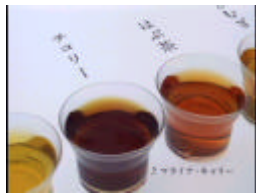
【制作エピソード】

「織物」篇は、実写とCGの合成で制作しています。11種類のお茶とグラスは実際に撮影をし、お茶がこぼれていくカット以降はCGで制作し、それを合成してひとつの映像に仕上げています。

今回の映像を制作する上で、最もこだわったのは、「グラスからこぼれた11種類のお茶が糸になり、紡がれて、1枚の美しい織物に変わっていき、それが爽健美茶につながっていく」という一連の動きをいかに美しく表現するか、という点。1枚の織物が「キレイのブレンド=爽健美茶」のイメージにつながるよう、液体から細い糸に変わる際のCGのディテール、それを追っていくカメラがどのような視点・スピードで移動していくか、織物から爽健美茶のゆらめきに移っていく際のディテールはどのように表現するか、など様々な角度で検討し、ひとつの美しい映像に仕上げていきました。

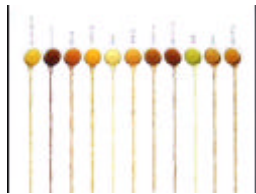
最後のカットで、「爽健美茶」を飲んでいるのは、新しく2004年の新“爽健美人”に選ばれた伊藤美樹。透明感のある彼女がおいしそうに爽健美茶を飲むことで、爽やかな印象を残しています。

<爽健美茶「織物」篇(15秒)TV-CM>



(1)
はとむぎ、玄米

~
朧月夜



(2)
月見草、どくだみ



(3)
はぶ茶、プーアル茶



(4)
チコリー...



(5)



(6)
So Beautiful.
爽健美茶。



(7)

<新TV-CM「投影・花」篇(30/15秒)について>

【CMストーリー】

気持ちのよい草原の上、ひとりの女性(伊藤美樹)が佇んでいる。ゆっくりと爽健美茶を口にすると、彼女の胸元には一輪の小さな花のつぼみが映しだされる。彼女はカラダの中の変化を感じるように、ゆっくり目を閉じていく。

胸元の花のつぼみはゆっくりと開いていき、花が開くと同時に水滴が美しく飛び散る。飛び散った水滴は、彼女の長く美しい手、細くまっすぐな足へと広がっていく。彼女は両手をあげて、カラダの内側から引き出される美しさを表現する。

『カラダの奥から…

So Beautiful. 爽健美茶』

【制作エピソード】

「投影・花」篇の撮影は、タイ西部カンチャナブリ・スワングリーブブア(SUAN GRIP BUA = スワンは公園、グリーブブアは蓮の花弁を意味します。)で行われました。バンコクから約180kmの場所にあり、近くには映画「戦場に架ける橋」の舞台となったクワイ川鉄橋があります。

撮影時期は昨年(2004年)の12月中旬。爽やかなグリーンと青い空を求めて、タイでの海外ロケとなりました。タイはその時期乾季で、天候が安定しているということもロケ場所に選ばれた理由の一つです。

2004年の新“爽健美人”に選ばれた伊藤美樹は、透明感のある、手足が美しく長い22歳の女性。撮影ではいかに彼女の美しさを引き出せるかを考え、ポーズやカメラアングルを決めていきました。

胸元の花はCGで制作。「爽健美茶」を飲むと、自分の内面から美しさが引き出されていく様子を表現しています。飛び散った水滴が彼女の長く美しい手足へ広がります。

美しい映像とマライア・キャリーの美しい歌声のマッチングが、見どころです。

<爽健美茶「投影・花」篇(30秒)TV-CM>



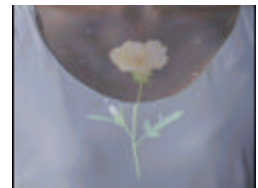
(1)



(2)



(3)



(4)



(5)



(6)

カラダの奥から。
So Beautiful.
爽健美茶。



(7)

~
朧月夜

MISTY MOON

I SEE FIELDS OF GOLDEN FLOWERS,
SHINE IN THE EVENING SUN,
ABOVE ARE MISTY MOUNTAINS,
IT'S SO BEAUTIFUL
AS THE WIND CARESS MY EYES,
GAZING GENTLY AT THE SKY,
THE MOON INSIDE A HALO,
IT'S SO BEAUTIFUL

THERE'S A DARK AND LOVELY FOREST,
IN THE PLACE WHERE WAS BORN,
THERE'S A FARMER WALKING DOWN THE TRAIL,
IT'S SO BEAUTIFUL
I HEAR THE SOUND OF BIRD SONG,
AND THE ECHO OF A BELL,
EVERY TREE IS WRAPPED IN MOONLIGHT,
IT'S SO BEAUTIFUL

(HUMMING)

WHEN I THINK OF ALL THE BEAUTY,
THAT NATURE GIVES TO ME,
FROM THE FLOWERS TO THE MOUNTAINS,
IT'S SO BEAUTIFUL
THERE'S GLORY AND A WONDER,
FAR WIDER THAN THE SEA,
I SAY YES TO ALL THIS LOVELINESS
IT'S SO BEAUTIFUL

おぼろづきよ 朧月夜

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

菜の花畠に 入日薄れ

見渡す山の端^は 霞深し

春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて 匂い淡し

里わの火影^{ほかげ}も 森の色も

田中の小道を 辿る人も

蛙^{かわず}の鳴く音も 鐘の音も

さながら霞める 朧月夜^{おぼろづきよ}

<マライア・キャリー プロフィール>

1970年3月27日生まれ。シティオペラの舞台に立つ母の影響で歌手になる夢を抱き、単身マンハッタンに乗り込む。その後、ブレンダ・K・スターのバック・コーラスを受け持つようになり、ブレンダからCBSソニー（当時）のトミー・モトーラ社長にデモ・テープが渡された1988年、デビューが決定。時にマライア、18歳。

1990年、“衝撃のデビュー”と呼ばれた「ヴィジョン・オブ・ラヴ」の大ヒット（4週連続全米NO.1）を皮切りに、数々のヒット作を送り出す。“7オクターブの歌姫”というキャッチ・コピーも当時の話題に。

日本では、ドラマ『29歳のクリスマス』の主題歌になった「恋人たちのクリスマス」が空前の大ヒット！この曲は後に、全米No.1シングルのみを集めたベスト盤『The Ones』の日本でのボーナストラックとなり、アルバムは360万枚という洋楽史上の記録に残るウルトラ・ヒットとなった。来日公演は計4回、数々のTV-CFにも出演している。主な記録としては、

- ・全世界のトータル・アルバム・セールスは1億5,000万枚（日本では1,600万枚）
- ・全米No.1シングルは15曲 ~ ビートルズ（20曲）、エルビス・プレスリー（18曲）に続く3位！

日本で6作連続100万枚突破 ~ 洋楽史上初！

<新“爽健美人”伊藤美樹(いとうみき)プロフィール>

22歳。出身地：神奈川県・都内大学に現在在学中のファッションモデル

サイズ：H176 cm / B81 cm / W61 cm / H89 cm / SHOES 25.5 cm



おもな経歴

雑誌

FREEMODE (2003.10.24 創刊号)

Runa (2003.9.12号)

Olive (2003.2月号)

Smart (2003.1.20号)

新美容 (表紙 1月号)

資生堂 花椿：表紙 (2002.8月号)

VOCE (2002.7月号)

ショウ

TOKYO RIPPER(2003.11)

SWAROVSKI FASHION FORUM2003 (2003.10)

ASIAN BEAUTY SHOW

<高野辰之(たかのたつゆき)プロフィール>

(1876~1947) 文学博士

明治9年、下水内郡永田村大字永江(現豊田村)に、父高野仲右衛門、母いしの3男3女の長男として生まれる。辰之の歌の作詞、童話の発掘、学問や生活のすべての中に溢れる純粹一途な温かい人柄やその大器となる基盤を育てたもののひとつは辰之を取り巻く豊かな自然環境あり、もうひとつは厳しさと慈愛に満ちた家庭環境であった。家は代々農家であったが、父親は優れた教養と高い道德観の持ち主で、小布施の豪商で有名な陽明学者、芸術家であった高井鴻山の開いた高井塾の塾生で農業のかたわらに、月数回、尊敬する鴻山の元へ通いつめて苦勞しながら勉強に励んだ。辰之は、明治の終わりから大正の初めにかけて作曲家岡野貞一と組み、「日の丸の旗」「紅葉」「春が来た」「春の小川」「故郷」「朧月夜」などの作詞をした。日本人に長く愛唱されているこれらの歌には、故郷によせる優しい思いがこめられている。歌う人、聞く人の誰の心にも親しみと日本人が持つ叙情への深い共感がわく名曲である。辰之の全人生をかけた学問的業績もすべては同じく日本の心の故郷を求める仕事であった。

<岡野貞一(おかのていいち)プロフィール>

(1878~1941 / 作曲家)

明治11年、鳥取市古市に生まれる。吉方小学校(現修立小学校)を経て、24年因幡高等小学校(現久松小字校)を卒業する。

明治26年、キリスト教系の薇陽学院に入学し、米人宣教師アダムズに楽才を認められ、音楽への道を志す。

明治29年、東京音楽学校(現東京芸術大学)に入学、33年に卒業し同校の研究科生となる。その後助教授を経て、大正十二年に教授に昇任し、昭和7年に退官する。

この間、文部省唱歌の編集、作曲委員として多くの唱歌を作曲する。

音楽教育の発展に大きく貢献する一方、熱心なクリスチャンであり、40年間、本郷中央教会で毎日曜日には礼拝のオルガンを弾き、聖歌隊を指導するなど信心深く、誠実な人格者であった。

<高野辰之&岡野貞一コンビによる主な作品>

「ふるさと」「春が来た」「春の小川」「^{おぼろづきよ}朧月夜」「もみじ」

<爽建美茶「織物」篇 TV-CM スタッフリスト>

広告会社	: 株式会社博報堂
制作会社	: 株式会社葵プロモーション
シニアクリエイティブディレクター	: 滝澤てつや
クリエイティブディレクター	: 福島和人
CMプランナー	: 山田亜佐子・藤本大祐
コピーライター	: 長澤弘治
デザイナー	: 高島紀男
プロデューサー	: 藤原次彦・村田秀樹
プロダクションマネージャー	: 和田聡・工藤秀一
ディレクター	: 鈴木洋
カメラマン	: Yinporn Anaman
照明	: Yinporn Anaman
CG	: 増尾隆幸
スタイリスト	: 島津由行
ヘアメイク	: 佐藤富太
音楽制作	: サーティース
キャスト	: 伊藤美樹
音楽	: マライア・キャリー